

本日卒業を迎えられる56名の皆さん「おめでとうございます」そして「ありがとうございました」私からは、今日、この二つの言葉を皆さんに送りたいと思います。

一つ目は「おめでとう」です。

六年前、皆さんは大きなランドセルを背負って、飯田北小学校といちょう小学校のそれぞれの門をくぐりました。幼稚園や保育園とはまた違った環境に、びっくりしたり、友達と仲良くできるかなと、不安に思った人もいるかもしれませんね。

あっと言う間の6年。皆さんは毎日、勉強やクラブ、委員会など一生懸命やり遂げました。

秋の運動会では、やっぱり6年はでっかいなあと思いましたが。今日、体だけではなく心も、心身ともに大きく成長した皆さんを見て、とても感動しています。その感動の言葉、心から「おめでとう」を伝えたいと思います。

二つ目は「ありがとう」です。

1年生になるときは、今の半数が飯田北小、いちょう小のそれぞれの門をくぐり、5年間通いました。しかし6年生から皆さんは、ここにいるみんなで飯田北いちょう小学校の門をくぐり、開校1年目の最高学年として過ごしたわけです。

学校が遠くなっちゃうな、仲良しとクラスが別れちゃった、新しい友達と仲良くできるかな、新しい先生は優しいかな？少なからずそんな不安が一人一人にあったと思います。

それでも、1年生から5年生の下級生に対して、お兄さんお姉さんとして、とっても頼りになる姿を見せてくれた。素晴らしいと思っています。

学校が統合するというのは、大変な事です。先生も親も地域の大人も頑張った一年です。でも一番しっかりやってくれたのは、最高学年の6年生、今日卒業する皆さんでした。おかげで飯田北いちょう小学校の2年目を迎えられます。皆さんによって、これからの歴史の一步をしっかりと作ることが出来たと思います。

そんな感謝の気持ちを伝えたいと思います。心から「ありがとう」

さて、保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。只今申し上げました通り、私自身は卒業生はじめ飯田北いちょう小の子供たちがもつ協調性に助けられ、会長職を務めることが出来たと感謝しております。保護者の皆さまにとっても、この一年は不安が多々あったと思いますが、家庭において、お子さんに愛情をもってこのように立派に育てられたことが、この学校を支えて下さったと深く感謝しております。有難うございました。

そして、ご来賓、地域の皆さま、ご臨席有難うございます。スタートしたばかりの学校ですから、いちょう団地、クローバー、柳明、坂の台、中屋敷の自治会町内会のお力を、まだまだ借りることとなります。微力ですがPTAもお返しを出来るよう頑張ってみますので、これからもよろしく願います。

最後に、田中校長先生、北澤副校長先生はじめ教職員の皆様、開校においては環境整備も大変だったと思いますが、子供が中心である、という主体からブレることのない教育を全うして頂き、大変感謝しております。今後も国籍に囚われる事無く、子供は皆子供で有り、同時にかけがえのない存在として尊重し、温かくも時に厳しく、指導を行って頂きたいと願っております。

飯田北いちょう小学校第一期生。皆さんなら中学に進学しても、立派に充実した日々を迎えることができると思っています。期待しています。頑張ってください。

以上で、私からの祝辞とさせていただきます。本日は誠におめでとうございます。